

のう じ でん そう

農時電送

R2 水稻 No.⑦

JA新函館・若松支店
せたな地区水稻部会

JAきたひやま

北檜山町農協地区水稻部会

JAいまかね

今金町稲作部会

檜山農業改良普及センター
檜山北部支所 (84-5514)

褐変穂が一部で発生 一度ほ場の確認を！

1 低温・強風時に見られる症状

出穂後、8月7日の強風に揉まれて褐変穂が見られます。

(1) 褐変穂

出穂後まもなくの時期に低温・強風に当たった際に傷がつき、雑菌が侵入して発症します。褐変しやすく、風の当たりが強い地区で見られます。

(2) にせいもち病

低温・強風に当たり、葉が傷つくことで雑菌が入り、黒色の斑点が点々と付く症状です。葉面に広く症状が見られます。

2 穂いもち

穂首、枝梗の根元など水滴がつきやすい部位から感染します。感染部分は褐変や黒変し、感染した部位から生長が止まるため、**白穂**になります。

大抵の場合、止葉等に病斑がありますので、確認しましょう。



写真 白穂

予防：出穂期防除（育苗時防除は出穂まで効果ありません）

対応：治癒は出来ないため、発生後速やかに予防剤の散布

いもち病か疑わしい症状が確認された場合、各農協にお問い合わせ願います。

ほ場の見回りと早期発見・適切な対応を！